

## 12 かかりつけ医療機関の有無による患者数

かかりつけ医療機関の有無では、内科でかかりつけ医療機関を持っている患者の割合は、小児科の半分程度である。不明（主に問診票未記入による）が前年比で3%減少したものの、依然として全体の4分の1以上を占めるため、実際の全患者の状況は把握困難である。

図表 2-12-1 かかりつけ医療機関の有無で見た患者数の推移

（単位：人）

		内 科			小児科			その他			総 数			
		あり	なし	不明	あり	なし	不明	あり	なし	不明	あり	なし	不明	合計
平成29年度	患者数	3,404	4,951	3,566	6,706	2,411	2,789	472	268	285	10,582	7,630	6,640	24,852
	比率(%)	28.6	41.5	29.9	56.3	20.3	23.4	46.1	26.1	27.8	42.6	30.7	26.7	100.0
平成30年度	患者数	3,092	4,931	3,911	6,063	2,064	2,441	493	303	324	9,648	7,298	6,676	23,622
	比率(%)	25.9	41.3	32.8	57.4	19.5	23.1	44.0	27.1	28.9	40.8	30.9	28.3	100.0
令和元年度	患者数	2,971	4,621	3,129	5,585	2,047	2,007	484	251	271	9,040	6,919	5,407	21,366
	比率(%)	27.7	43.1	29.2	58.0	21.2	20.8	48.1	25.0	26.9	42.3	32.4	25.3	100.0

図表2-12-2 かかりつけ医療機関の有無で見た患者の割合の推移（内科、小児科）

